



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東  
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,022	4.8	173	△40.3	231	△40.5	180	△42.1
2022年3月期第3四半期	6,698	20.2	291	154.2	388	102.9	311	122.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年3月期第3四半期	32.60		—					
2022年3月期第3四半期	51.20		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,190	2,937	56.6
2022年3月期	5,005	2,802	56.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,937百万円 2022年3月期 2,802百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	
2023年3月期	—	0.00	—			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,300	△5.3	210	△35.5	270	△36.6	180	△41.9	32.53	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	6,228,039株	2022年3月期	6,228,039株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	694,832株	2022年3月期	694,438株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	5,533,441株	2022年3月期3Q	6,081,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立により、経済活動は徐々に正常化に向かうなかで新型コロナウイルス第8波が到来するなど、不安定な状態が続きました。また、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、急激な為替変動や物価高騰にともなう消費者心理の低下など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましては、新規顧客の獲得と既存顧客の取引深耕に取り組み、一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開してまいりました。海上コンテナ不足は一定の解消を見ましたが燃料費の高騰が継続し、航路により統一性がないものの海上運賃の減少は小幅にとどまっています。このような状況のなか、お客様の理解のもと、各国の協力代理店及び船会社と緊密な連携を取り合っテコンテナ配送手配、荷役作業を行い、また事務処理の効率化等経費の削減に努めましたが、輸送コストの高止まりにより収益水準を押し下げました。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は7,022,442千円で、前年同四半期累計期間と比べ323,751千円(4.8%)の増収となりました。営業利益は173,599千円で、前年同四半期累計期間と比べ117,429千円(40.3%)の減益、経常利益は231,210千円で、前年同四半期累計期間と比べ157,277千円(40.5%)の減益となりました。また、四半期純利益は180,374千円となり、前年同四半期累計期間と比べ131,021千円(42.1%)減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましても、営業収入は新型コロナウイルスの影響等による輸送需要の低迷等も懸念されましたが、前年同四半期比については増収となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、6,816,979千円で、前年同四半期累計期間と比べ、311,678千円(4.8%)の増収となり、全セグメントの97.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は477,524千円で、前年同四半期累計期間と比べ69,716千円(12.7%)の減益となりました。

#### ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入、営業利益共に回復傾向にあり、増収増益となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、201,796千円で、前年同四半期累計期間と比べ、12,021千円(6.3%)の増収となり、全セグメントの2.8%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、16,439千円で、前年同四半期累計期間と比べ、7,034千円(74.8%)の増益となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入は3,665千円で、前年同四半期累計期間と比べ51千円(1.4%)の増収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は3,643千円で、前年同四半期累計期間と比べ72千円(2.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より162,287千円増加して3,056,285千円となりました。これは現金及び預金の増加163,340千円、営業未収入金の増加45,067千円、立替金の減少45,552千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より23,054千円増加して2,134,460千円となりました。これは投資有価証券の増加76,952千円、貸倒引当金の増加41,687千円、のれんの減少20,948千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より88,448千円減少して1,280,148千円となりました。これは営業未払金の増加83,453千円、賞与引当金の減少39,086千円の減少、未払法人税等の減少142,665千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より138,260千円増加して972,755千円となりました。これは長期借入金の増加133,324千円等によるものであります。

純資産は、前年事業年度末より135,529千円増加して2,937,842千円となりました。これは四半期純利益等による利益剰余金の増加119,504千円、その他有価証券評価差額金の増加10,624千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、不確定要因が大きく、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関する修正が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,393,816	1,557,157
受取手形	1,393	6,511
営業未収入金	786,926	831,994
立替金	666,698	621,146
その他	47,915	48,563
貸倒引当金	△2,753	△9,087
流動資産合計	2,893,997	3,056,285
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	92,923	86,867
構築物（純額）	2,116	1,910
機械及び装置（純額）	48,998	41,700
車両運搬具（純額）	38,706	52,663
工具、器具及び備品（純額）	5,831	4,363
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	12,000	12,638
有形固定資産合計	776,759	776,326
無形固定資産		
のれん	139,655	118,706
その他	19,615	8,062
無形固定資産合計	159,270	126,769
投資その他の資産		
投資有価証券	964,890	1,041,843
繰延税金資産	26,713	22,033
差入保証金	79,172	76,500
その他	321,038	349,113
貸倒引当金	△216,439	△258,127
投資その他の資産合計	1,175,375	1,231,363
固定資産合計	2,111,405	2,134,460
資産合計	5,005,403	5,190,745

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	38,267	—
営業未払金	633,582	717,035
1年内返済予定の長期借入金	343,387	397,183
未払金	35,597	41,430
未払法人税等	166,435	23,769
賞与引当金	51,626	12,540
その他	99,700	88,189
流動負債合計	1,368,596	1,280,148
固定負債		
長期借入金	591,130	724,454
退職給付引当金	227,910	231,173
その他	15,454	17,128
固定負債合計	834,494	972,755
負債合計	2,203,090	2,252,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	18,025	23,558
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	641,602	761,107
利益剰余金合計	659,628	784,666
自己株式	△312,153	△312,286
株主資本合計	2,794,347	2,919,252
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,965	18,589
評価・換算差額等合計	7,965	18,589
純資産合計	2,802,312	2,937,842
負債純資産合計	5,005,403	5,190,745

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収入	6,698,691	7,022,442
営業原価	6,117,529	6,503,890
営業総利益	581,161	518,552
販売費及び一般管理費	290,133	344,952
営業利益	291,028	173,599
営業外収益		
受取利息	21	4
受取配当金	32,008	55,528
受取家賃	19,800	19,800
受取手数料	3,696	—
雇用調整助成金	13,024	2,142
受取補償金	24,506	—
雑収入	25,677	28,126
営業外収益合計	118,735	105,601
営業外費用		
支払利息	5,363	5,738
支払手数料	2,218	—
為替差損	5,000	33,704
賃貸費用	8,692	8,547
雑損失	0	—
営業外費用合計	21,275	47,990
経常利益	388,488	231,210
特別利益		
固定資産売却益	1,563	3,460
投資有価証券売却益	75,291	56,239
特別利益合計	76,855	59,699
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	7,184	—
投資有価証券評価損	363	—
特別損失合計	7,547	0
税引前四半期純利益	457,796	290,910
法人税、住民税及び事業税	146,400	110,535
法人税等合計	146,400	110,535
四半期純利益	311,395	180,374



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。